



研究キーワード

野生動物, 共存, 種内変異, 社会化の過程, 社会性の進化

谷口 晴香

TANIGUCHI, Haruka

講師

所属…環境学部 環境学科

Profile

■ 主な担当科目 動物行動学, 保全生物学, 生物学概論

■ 研究者略歴

- | | |
|----------------|---|
| 2016年(平成28年)3月 | 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 博士課程修了 |
| 2017年(平成29年)8月 | 琉球大学 国際地域創造学部 ポスドク研究員 (~2018年(平成30年)7月) |
| 2020年(令和2年)4月 | 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 研究機関研究員 |
| 2024年(令和6年)4月 | 公立鳥取環境大学環境学部環境学科 講師 |

Research

■ 取得学位 博士(理学)(京都大学)

■ 専門分野 霊長類学, 動物行動学, 生態人類学

■ 現在の研究テーマ

- ・環境がニホンザルのアカンボウの社会関係の発達に与える影響
- ・環境がニホンザルの育児体系に与える影響
- ・人間活動を含めた環境が野生動物の社会に与える影響

■ 所属学会 日本霊長類学会, 生態人類学会, 屋久島学ソサエティ

Data

■ 研究等活動

【論文】

- ・「ヤクシマザルの離乳期のアカンボウの伴食行動：アカンボウの集まりに着目して」, 2022年, 『生態人類学会ニュースレター』28号
- ・「Wound healing in wild male baboons: Estimating healing time from wound size」(共著), 2018年, 『PLOS ONE』vol. 13
- ・「How the physical properties of food influence its selection by infant Japanese macaques inhabiting a snow-covered area」, 2015年, 『American Journal of Primatology』vol. 77
- ・「ニホンザルのアカンボウの集まりについていき, 彼らの『普通』を体感する」, 2015年, 『動物と出会うⅡ：心と社会の生成』, ナカニシヤ出版

【報告書】

- ・「2022年度フィールドネット・ラウンジ企画 フィールドワークってなんだ? : 異分野方法論談議(霊長類学・言語学・歴史学・人類学)」, 2023年, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, URL : https://fieldnet-aa.jp/lounge/assets/20230109_Fieldnet_lounge_Report.pdf
- ・「野生ニホンザルの離乳期の子育て」, 2020年, 『ヒトを見るようにサルを見る』, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, URL : https://sociality.aa-ken.jp/data/wp-content/uploads/2020/11/Report_on_colloquium_2020.pdf

■ 社会貢献活動

- ・ニホンザル研究セミナーの企画・運営 (2022・2023年度)
- ・一般公開セミナーの企画「フィールドワークってなんだ? : 異分野方法論談議(霊長類学・言語学・歴史学・人類学)」(2023年1月9日開催)